

教育研究データ			
1. 氏名		上利 学	
2. 生年月		1965年4月	
3. 取得学位		修士(文学)	
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2023年4月	① 教員採用試験に合格するために必要な英語力を養成するため、英語教員を志望する学生を対象としたゼミを開催した。教員が主導するかたちで、隔週1回のペースで実施し、文法・読解の向上を目指した課題授業を行った。	
	2024年8月	② 教員採用試験の二次対策として、中等教育英語専攻の4年生の学生に対し英語面接試験の指導を行った。	
	2024年2月	③ 教員採用試験対策(「春期セミナー」)として、中等教育英語専攻の3年生の学生に対し、過去問を利用した授業を実施した。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
① 英米短作品の文体分析	共著	2017	レタープレス
② “Towards the Division of the Round Table in the <i>Morte Darthur</i> ,”	単著	2018	<i>The Pleasure of English Language and Literature</i> , ed. Hideshi Ohno, Kazuho Mizuno, and Osamu Imahayashi (Keisuisha), pp. 1-10.
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
① “New Compositors at Work in Caxton’s Malory”	単著	2014	<i>Poetica</i> 81, 15-32.

② 「英語教育の中のフランス語」	単著	2017	『広島文教グローバル』第 2 号、1-15.
③ 「英語の接辞と音声変化」	単著	2018	『広島文教グローバル』第 3 号、1-9.
④ 「現代英語に底流する性差別」	単著	2019	『広島文教グローバル』第 4 号、1-18.
⑤ “Loyalty and Worshyp in Conflict in Malory’s Lancelot”	単著	2023	<i>Arthurian Literature</i> 38 (D. S. Brewer, 2023), 188-208.
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
① 「マロリーにおける結束と分断の力をもつ忠誠心」	2023 年 6 月		日本中世英語英文学会第 39 回西支部大会
② “Loyalty as Cohesive and Divisive Force in Civil War in Malory”	2023 年 8 月		In sondry ages and sondry londes: Global Chaucer in the XXIst Century
(4) 所属学会			
② 日本英文学会			
③ 日本中世英語英文学会			
④ 日本中世英語英文学会(西支部)			
⑤ 近代英語脅威会			
⑥ 広島英語研究会			